

第2580地区

東京セントラルパークロータリークラブ

The Rotary Club of Tokyo Central Park

Weekly Report

2021-2022年度 スローガン

「もう一度始めよう」

第7回 (通算1758回) 2021年10月26日



本日の例会



- | | |
|---------------------|--------------------|
| 〈1〉 開会点鐘・会長挨拶 | 〈6〉 9月のニコニコ大賞 松林会員 |
| 〈2〉 ロータリーソング 「日も風も星 | 〈7〉 メークアップ報告 |
| 〈3〉 も」 | 〈8〉 委員会報告 |
| ビジター紹介 | |
| 〈4〉 幹事報告 | 〈9〉 ニコニコ BOX 報告 |
| 〈5〉 出席状況報告 | 〈10〉 閉会点鐘 |



本日の卓話



本日の例会 「会員卓話 (コーヒーのお話)」

江上聖和会員

〈11/2〉 「例会休会日」
次回の例会 〈11/9〉 「未定」

◆◆◆ 先回の例会記録 ◆◆◆

2021年10月19日 第6回 (通算1757回)
開会点鐘 榎本会長 B1「白鳳の間」
出席 22名 欠席 8名 出席率 73.343%
前回の補正出席率 (10/5) 90.00%

◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆

- ① 「ロータリー日本100年史」の購入依頼がきております。日本のロータリーの歴史をひもとくには格好の冊子となっております。価格は1部6600円です。購入希望の方は事務局までお問合せ下さい。
- ② 日本ロータリー100周年を契機にロータリーの活動をPRし、会員増強に繋げることを目的に日本経済新聞社10月22日金曜日朝刊全国版に一面に掲載されます。
- ③ 新型コロナウイルス感染拡大のため開催を中止していました「世界ポリオデー・ウィークラリー」と「世界ポリオデートレインジャック」のイベントが開催されることになりました。共に10月24日の日曜日となります。ウォークラリーは13時30分に丸の内ビルディング前集合で有楽町の駅前広場まで行進します。イベントは13時～16時まで有楽町駅前広場で様々なイベントを用意しています。ウォークラリーご参加の方は事前に事務局までご連絡ください。
- ④ 来週26日は例会終了後にクラブフォーラムを開催しますので忘れずにご参加下さい。

◆◆◆ ニコニコBOX報告 ◆◆◆

榎本会員：先週は川松さん 卓話ありがとうございました。本日はロウさん よろしくお願ひします。

前田会員：結婚記念日の品物 ありがとうございます。

杉本会員：妻の誕生日のおかし、ありがとうございます。美味しく頂きました。

今週の合計 3件 17,000円
2017～21年の累計 2,717,564円

◆◆◆ 先回の卓話より ◆◆◆



「優しい日本、寂しい日本」

米山記念奨学生 ロウ セン さん

日本に来てもう3年に経ちました。この3年間、積極的に色々な人を接して、色々なことを体験できました。例えば、夏休みの時に西武の免税カウンターでアルバイトして、日本スタイルのアルバイト文化を体験しました。暇のときに、友達と日本各地に旅行して日光、伊豆、箱根、小樽などの東京以外の所の文化と風景を体験しました。もちろん、私主に東京大学の研究室で日本の先生と仲間と一緒に勉強しています。3年の間にいろんな人と事を触れて、大変面白いと思いながら、日本で距離を置いた異質なものという印象を持ちました。つまり人と人接している時に距離を取ることは中国と日本で違うということです。

今回の卓話で「優しい日本、寂しい日本」というテーマして日中両国間の文化違う所について勝手に自分なりの思いをこちらで皆様と話したいです。

今回はこちらの4点でまとめて話したいです。まずは人と人の物理的距離です。

私たちは無意識のうちに、他人との一定の距離をとって、快適な空間を保とうとする。専門分野ではこの空間を「パーソナル・スペース」と呼んでいます。

私の感覚からすると、「パーソナル・スペース」の基準値を1としたら、日本では1～1.2が普通で、中国では0.8～1に近い。数値上の微妙な違いは少々抽象(ちゅうしょう)ですが、実生活ではこの差を大きく感じる場合が多いです。

例えば皆は日々に並んでいる行列ということです。左の写真は私が毎日通っている駅で撮ったものです。狭いホームで並んでいるときも、他人

と
の距離を保っているところはいかに日本人らしい。これらの行列を観察すれば「物理的距離感を好む日本人」の印象がさらに深めました。でも中国の状況は全然違います。右の写真は中国スタイル行列です。中国の行列はぎゅうぎゅうと詰めています。人と人の間にスペースがほぼないです。もちろん「割り込みされたくない」とか「人数が多すぎる」とかの理由もあります。こちらで「何を考えているの」という質問がくるかもしれませんが、答えは「何も考えていない」からこそこうなってしまいました。「パーソナル・スペース」への、つまり人と距離を取る意識がまだ薄いということです。

もう一個の例は外に出かけている人の姿です。中国ではこのように腕を組んで歩いて人、または手をつないで歩いて女同士をよく見えます。中国で「親しい人と腕を組んで歩く」ことについて何の違和感も感じてないです。もちろん友達だけではなく、親とも、性別や年齢にかかわらず親しい人とはいつも腕を組んで歩いています。しかし、日本で友人と出かける時、普通に腕を組んで歩いていたなら、なぜかすごく違和感を感じました。その時初めて気づいた――日本ではカップル以外、腕を組んで歩く人がほとんどないことです。周りを観察してみたら仲のいい友人でも、親子でも、しゃべって笑って盛り上がっているにもかかわらず、身体的接触が少なかったです。こちらで「身体的接触によって感情をさらに深めたい」と考える中国人から見て、親しい人とも「パーソナル・スペース」を保つ日本人は「ちょっと寂しい」と思うかもしれないです。

心理的距離

見てすぐわかる物理的距離と違い、日本人と中国人の「人に対する心理的距離感」の違いはずいぶん細かいところから現れています。例えば、自己紹介の時日本人の場合は最後に「どうぞよろしくお願いします」を使うのが決まりで、話を聞いている人と自分には「世話をする人」と「お世話になる人」という立場の違いがあることをはっきりさせます。相手を立てると同時に、初対面の時から見えない壁を作ってしまいました。一方中国では決まりはなく、どんな自己紹介をするかは好み次第だが、最後の定番として一番よく使われてい

るのは「みんなと早く仲良くなりたい」です。一番強い願望は「仲良くなりたい」、そして初対面にもかかわらず、年齢や履歴なども関係なく、頭の中ではすでに「みんな」を一つの塊として考えています。

こういった「距離感」は、たぶんもう日本人の生活の中に滲んでいて、日本人は全然違和感を感じていないと思う。たとえば日本で一番多く使われている言葉は、たぶん「ありがとう」か「すみません」のどちらかだと私は思う。お世話になっている方や自分より年上の方に対してはもちろん、まだそれほど親しくない人に対しても、礼儀正しく挨拶の言葉を使うのが常識です。

しかも日本に3年いる私は今も時時にこういう言葉を使う頻度にびっくりさせました。例えば通っていた研究室では、どんな些細なことでもきちんと「ありがとう」「ごめんね」を言ってくれました。

さらにびっくりしたのは家の中でもこの態度はほとんど変わらない。この前に旅行中はプライベート旅館に泊まり、オーナーの家族と一緒に暮らすことができました。毎日弁当をもらうとき、子供は必ずお母さんに「ありがとう」を言いました。後は夜家族でテレビを見るときに、誰かが人の前を通る時も「ごめんね」と謝りながら通っていました。

心から日本人の礼儀正しさに感心したと同時に、「親しい人に対しても頻繁に言う必要あるかな」という疑問も生まれました。

中国では「自己人」という言葉があって、それは自分と親しい人のことを指しています。日本での「身内」とか「仲間」のような親しい関係を表す言葉みたいです。「自己人」は文字通り「相手と自分を一つに考える」傾向が強い。「礼儀なんか気にしないでいい」と言われるとそれは「自己人」の仲間入りの証明です。

「自分に対していちいち感謝したり謝ったりするのはおかしい」と思っている人、「恥ずかしくて言えない。相手なら言わなくても絶対わかってくれる」と思う人が中国で大勢います。逆に急に礼儀正しくされたら、相手も「距離を置きたいのではないか」、「なんか水臭い」と感じてしまう。身近な例をあげると、以前一度、父が母に「ありがとう」と言ったら、「家族なのに、『ありがとう』

っておかしいでしょう」と、逆に父が叱られたことがありました。他人への感謝や謝罪をきちんと行って、相手への尊重を表すことは、もちろん中国でも小学校からずっと教えています。でも実生活になると時には通じない場合もあります。日本人から見ると挨拶が言えない中国人は「図々しくて礼儀知らず」と思うかもしれない。逆に挨拶の言葉を頻繁に言われて、「日本人とはなかなか仲良くなれない」と感じている中国人も多いです。また「習慣で言っているだけで、心を込めていないのではないか？」と思われてしまいます。ここで文化や習慣の違いによって、時には「熱さ」が「無礼」になり、「やさしさ」も「寂しさ」に変わるかもしれないです。

じゃ「距離感」を生み出した理由や原因はなんですか？

まず考えられるのは「言葉」。日本語は曖昧な表現が多く、言いたいことを直接言わない。さらに相槌を打つ習慣があって、本当の考えが見えにくいのも特徴です。このぼんやりした感じは、相手を傷つけることを避けると同時に、微妙な距離感を生み出します。

次に考えられるのは常に他人を意識していることによって誕生した日本の「迷惑文化」です。日本のお母さんが子供を躾ける（しつける）ときよく使うのは「人に迷惑をかけてはいけない」。このように小さい頃から日本人は「他人への配慮」を覚えていきます。こうやって育った子供たちは、将来に自立精神の強い、自分が少し苦労しても人に迷惑をかけたくない大人になる。一方、中国では「人に迷惑をかけた方がいい」という場合もある。前に出た「感謝や謝罪を言わない」の行為と同様、「迷惑をかける」ことも仲のいい象徴となる。もちろん迷惑には限度があるが、あるラインさえ越えなければ、かけても全然問題はない。例えば中国では孫の世話を見ているお婆さんお爺さんが非常に多い。「家族だからしてあげるのは当たり前」と思っています。日本では主婦になって子供の面倒を自分で見るお母さんが多く、色々な理由が考えられるが「親に迷惑をかけたくない」もその一つの原因としてかもしれない。

最後の理由としてあげたいのは、今日本でどんどん進んでいる「一人ブーム」です。日本に来て一人で何かをする場合が多く、最初は不安だった

が、慣れてきたら一人の気楽さが分かってきた。そして日本には「一人でやってもおかしくないこと」がたくさんあることに気づいた。昔から流行っていた「一人カラオケ」。自由自在だから最近人気が出てきた「一人旅」。そして一番感心するのは「一人飯」の進化です。以前は女性が一人外食するのはすごく恥ずかしくて、でも今は女性の「一人飯」もだんだん受け入れられてきた。レストランで一人平気で食べている女性も見えますし、一人専用の店も増えてきて、一人焼肉屋、一人ラーメン店など…

最後話したいいいことはこの特独な距離感で出した和の社会です。

日本の暮らしやすさは世界公認である。街がきれい、交通が便利、食材が充実…しかしハードウェア以上に人を魅了するのはやはり日本人のやさしさです。常に微笑んでいる店員さん、いつも挨拶してくれる警備員さん、信号が変わっても渡るのを待ってくれる運転手さん…日本人にとって当たり前のことと思うかもしれないが、実にすばらしい風景です。このやさしさを人に伝えるには絶妙な距離感を保つことが必要です。一步下がると冷たいを感じられ、一步進むと馴れ馴れしく思われます。

社会進歩は常に寂しさを伴う。先進国である日本も、発展するために何か大事なものをなくしたはずです。どんどん失われていくのは、本心で相手とぶつかって親しくなる人情味（にんじょうみ）です、逆に残ったのは、形式的な微笑みや親密な関係になることへの恐怖心であろうか。今、「日本は人情薄い国になった」とよく言われるが、決してそうではない。ただある事実を知ったのだ--『親密になった幸せは常につらさを伴っている、距離感を保つのは寂しいけれど楽』。それでもいろんな異なる文化を融合して、理解して、これは和の社会を作られる原因の一つになると思います。卓話は以上になります。

ご清聴ありがとうございました。

◆◆◆ 先 回 の 例 会 よ り ◆◆◆



榎本会長よりロウさんへ奨学金の授与

2021-2022 年度 11月の卓話スケジュール	
2 日	例会休会日
9 日	「未定」
16 日	「若林英博ガバナー 公式訪問記念講演例会」
23 日	例会休会日
30 日	「グローバル補助金完了報告会（仮） 松林 茂 会員
12月の卓話スケジュール	
7 日	「クラブ年次総会」
14 日	「演題未定」 クラブ研修委員長 小林 力 会員
21 日	「家族親睦忘年会」
28 日	例会休会日

第 35 回 JCNN 懇親ゴルフ大会

2021 年 9 月 9 日（木） 嵐山カントリークラブで
行われた「第 35 回 JCNN 懇親ゴルフ大会」
11 名の参加があり、成績は別記の通りとなっております。

【団体戦】

- 1 位 東京セントラルパーク RC
- 2 位 東京城北 RC
- 3 位 東京練馬西 RC
- 4 位 東京練馬中央 RC

【個人戦】

- 1 位 塚本将之会員 2 位 橋本国彦会員

第 2580 地区懇親ゴルフ会

中央分区予選会

2021 年 10 月 14 日（木）武蔵野カントリークラブ・
豊岡コースで行われた「第 2580 地区懇
親ゴルフ会」分区予選会へは 6 名が参加し、
団体戦は 惜しくも 4 位でした。

（決勝大会出場権：団体戦上位 3 位まで）

【団体戦】

- 1 位 東京新都心 RC
- 2 位 東京 RC
- 3 位 東京城北 RC
- 4 位 東京セントラルパーク RC



例会日 月 3 回（火曜日）12：30～13：30

例会場 ハイアットリージェンシー東京

会 長 榎本 純 副会長 榛村浩一

幹 事 杉本義孝 会報委員長 勝俣良美

事務局 〒166-0004

東京都杉並区阿佐谷南 1-34-6 新東京会館 5F

TEL (03) 3312-4959 FAX (03) 3312-4958

E-mail : info@tokyocentralpark-rc.com

<http://www.tokyocentralpark-rc.com/>

—事務局からのお知らせとお願い—

＊ 例会欠席の場合は、前の週の木曜日までに事
務局にご連絡下さい。

2021-2022 年度

クラブフォーラムのご案内

会 長 榎本 純

幹 事 杉本義孝

直前会長 橋本国彦

記

日 時：2021 年 10 月 26 日（火） 13 時 30 分～15 時 30 分

会 場：ハイアットリージェンシー東京 B1「飛鳥の間」

司

会/杉本義孝幹事

13：30 開 会 会長挨拶

榎本 純 会長

13：35 テーマ発表・主旨説明

橋本国彦直前会長

テーマ

「40 周年記念例会について考える」

13：50 本会議

リーダー：小野会員

リポーター：阿部会員

15：20 講 評

榎本会長

15：30 閉 会

以上